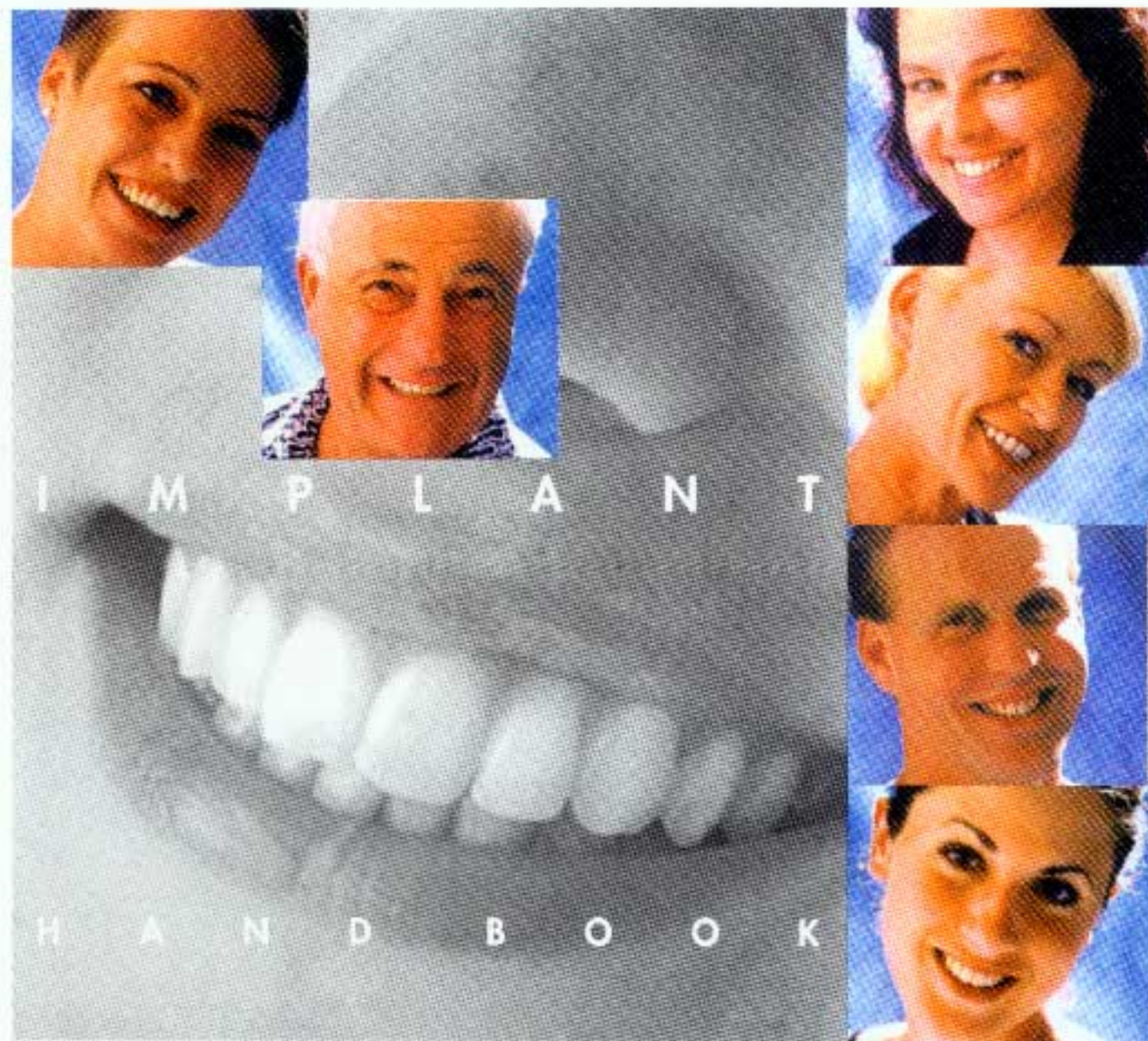


一度、先生に
相談してみても
いかがですか？



■取り扱いクリニック

 **straumann**



インプラント治療について

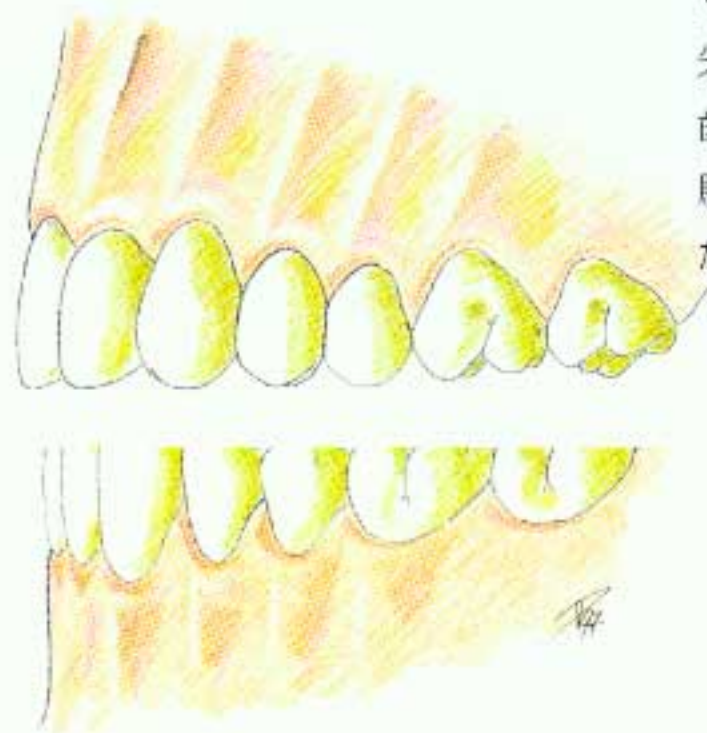
この小冊子は、科学的に立証されたITIデンタルインプラントを用いた最新治療法に関する内容をご紹介します。



ITI
IMPLANT SYSTEM
DESIGN

歯の役割

歯の最も重要な役割は言うまでもなく噛むことです。しかし、これ以外に歯には顔の表情を決定するという重要な役割もあることを忘れてはなりません。顔貌、表情、喜びの表現、自然な笑いに歯は大切な役割を果たしています。歯は会話を交わすためにも、美しい表情にも不可欠な要素です。歯はその人のライフスタイルやライフクオリティーに大きく影響しているのです。

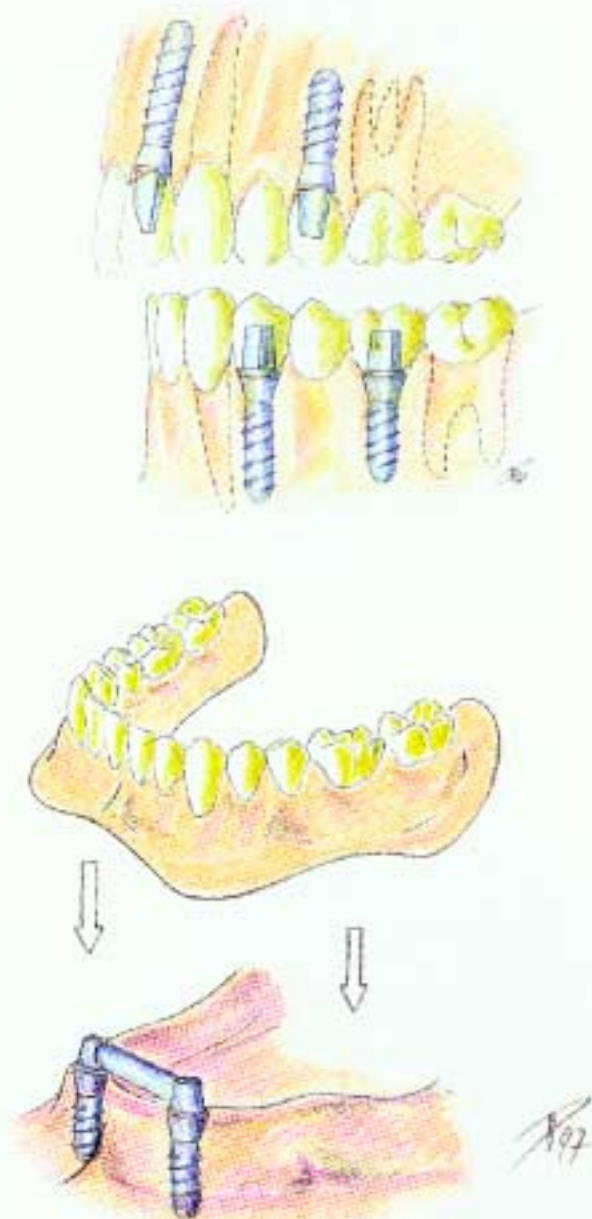


歯を失うこと

私達は歳を重ねるにつれ、虫歯や歯肉の病気、あるいは事故などで歯を失うトラブルに見舞われることがあります。奥歯を数本失うより、前歯を1本失うほうが心理的につらいかもしれません。たった1本の歯を失うことで、歯の機能と審美性が崩れ、食事の時や外見上で不都合を感じるようになってしまいます。歯を失ったあなた、すなわち患者はできるだけ簡単で目立たない方法で失った部分を修復することを切望するでしょう。歯を失うということは歯冠だけでなく咬む力を支える歯根までもを失ってしまっているのです。失った歯をもとに戻したいというあなたの願いは、インプラント治療によってかなえられるでしょう。

歯科用インプラント

歯科用インプラントとは天然歯根の代用となる人工歯根のことです。インプラント本体は外科手術により顎の骨に埋め込みます。埋め込まれたインプラントは、平均6~12週間の治癒期間を経て骨にしっかりと結合します。この期間、ITIインプラントの場合はインプラントの頭を歯ぐきの外に出した状態ですので、他のインプラントを使用した場合のようなインプラントの頭を出すための2回目の手術をする必要がありません。



▲インプラントを埋入した状態。



▶骨と結合し、歯肉と密着固定している様子がはっきりと分かります。

(組織学的考察: R.K.Schenk, D.Cochran, D.Buser)

インプラントの材質には純チタンが使用されています。純チタンは生体組織に良く適合します。骨としっかりと結合し、歯肉と密着固定したインプラントは、上部に取り付ける修復歯のしっかりとした土台となります。

新しい治療法と従来の治療法

従来の治療

失った歯の修復法として、従来は人工クラウンやブリッジ、取り外し式の部分的な入れ歯、総入れ歯が利用されてきました。しかし、こうした代用物を口の中に確実に固定させるためには、隣りの健康な歯を削らなければならないといった問題がありました。

また、従来の方法では失われた歯根までもを回復させるすべはなく、歯がなくなることによってできた顎の骨の中の空洞は放置されたままでしたので、やがてはこの歯根の喪失による空洞によって顎骨が萎縮する危険がありました。本来あるべき骨量が年月とともに大量に減少し、骨は“萎縮”した状態になってしまう場合もあるのです。これが原因で入れ歯はフィットが悪くなり、食べる喜びがなくなり、日常生活の楽しさを失うことにもなりかねません。

従来の治療

インプラント治療

歯が1本抜けた場合



● 周りの健康な歯を削ってブリッジにします。



● 健康な歯をまったく削ることなく、歯の無い部分にインプラントを入れます。

歯が数本抜けた場合



● 入れ歯を固定するための針金が見た目にも機能的にも不快です。



● 針金付きの入れ歯ではなく、歯の無い部分に適切な数のインプラントを入れ、固定式の人工歯を取り付けます。

歯が全部抜けた場合



● 入れ歯がズレたり、食べ物が内側に入って痛かったりします。



● 数本のインプラントを入れて入れ歯の固定源となる維持装置を取り付けます。

インプラント治療の利点

- 取り外し式の入れ歯に代わって、固定式の入れ歯を入れることができます。
- 取り外し式の入れ歯の場合でも、インプラント上にしっかりと固定されますので、通常の入れ歯のようなズレや痛みがなくなります。
- インプラントによる入れ歯なら、天然の歯とほとんど同じ感覚で噛めます。
- 自然な外観や表情を取り戻すことができます。
- 噛む機能が回復することで食べ物の楽しい食事は体を健康に保つだけでなく、心までも健康にします。

● 取り外し式の入れ歯に代わって、固定式の入れ歯を入れることができます。

● 取り外し式の入れ歯の場合でも、インプラント上にしっかりと固定されますので、通常の入れ歯のようなズレや痛みがなくなります。

● インプラントによる入れ歯なら、天然の歯とほとんど同じ感覚で噛めます。

● 自然な外観や表情を取り戻すことができます。

● 噛む機能が回復することで食べ物の楽しい食事は体を健康に保つだけでなく、心までも健康にします。

いつか自分もインプラント治療を受けてみたいと思っていました。

伊藤 正夫さん

44歳 歯科医師



【インプラント埋入箇所と本数】
上顎臼歯部1本

歯が無くなったからインプラントにしよう当初から思っていました。これまでたくさんの患者さんにインプラント手術をしてきました経験上、成功率が非常に高く、ブリッジなどに比べて咀嚼能率が高いということは十分わかっていますからね。成功した時のメリットが本当に大きいということですね。それに私は歯並びが悪いものですから、ブリッジにしたところであまり長持ちするとも思えなかったですね。

高校生くらいの時に歯が痛くなって根っこの治療を受けたのがその歯の治療の始まりでした。左上の第一大臼歯です。最近になってその歯がまた痛みだして、結局抜歯することになってしまいました。たしか、98年の12月頃でしたかね。

右上の第一大臼歯も、3本ある根っこのうち2本の根っこを取ってしまって、非常に小さい歯がそこにあるだけの状態で、左右両側とも非常に噛みにくい状態だったんですよ。治療前は、インプラント手術を受けたのは99年の8月、左上に1本入れました。顎の骨の高さが少し足りなくて上顎洞底挙上術^{（じやうどうていきやうじゆつ）}をしてもらいました。思っていた通り、手術は何の問題もありませんでしたよ。

お正月が近いということで少し早めに上部構造(インプラントの上に取り付ける人工歯)を入れました。1週間位は少し違和感がありました。違和感というのは「痛い」とかそういうのじゃなくて、噛む時の異物感というか「他人の歯」というかそういう感覚がありましたね。でも1週間もたてば自分の体の一部になって、今はもう人工物を入れているという感覚は全くないですね。

時間に余裕ができたなら次は右側にもインプラントを入れようと思ってますよ。

*上の顎の骨はインプラントを入れるのに高さが不十分な場合が多くあります。その場合には、まず骨の高さを獲得する手術が必要です。骨の高さを増やすのには6ヶ月ほどかかります。骨が増えたことを確認してからインプラントを入れます。

食べる楽しみがほんとうに増えました。

田中 美智子さん

58歳 主婦



【インプラント埋入箇所と本数】
上下小臼歯、大臼歯部 計8本

柿が大好きなんですよ。食事がすごく変わりましたね。漬け物も一切食べてなかったのですが、今は食事の時必ず食べてます。食べる楽しみがほんとうに増えました。インプラントを入れる前は「噛む」ということは全然できなくて、食べ物はほとんど丸飲み状態でしたから、舌でつぶして飲み込めるものしか食べることができませんでした。最初は保険の入れ歯を入れていました。でも、保険の入れ歯は歯ぐきの部分が分厚くて針金を健康な自分の歯に引っかけるタイプのものでしたけど、ぜんぜん合わなくて、仕方がないので次に保険じゃない高価な金属を使った入れ歯にしてみました。やっぱりダメでした。入れ歯を固定するための針金をいい歯に引っかけて、しばらくすると、そのいい歯がダメになって、ダメになった歯を抜いたら次のいい歯に引っかけてという具合にくりかえす内、どんどんいい歯が無くなってしまいました。それで結局、前歯だけが残りまして。とうとういやになって入れ歯を外してしまって、残った自分の前歯だけで食事するようになってしまいました。

でも、お陰様で今は本当に快適です。いい先生に巡り会えたなと感謝しています。手術はわりと平気でした。そんなに痛くもなくて、腫れなかったです。時間もかからなかったですし、麻酔がきいてうとうとと居眠りをしてしまっている間に終わったという感じです。

話す時これまでは歯がないので手で口をかくして話していました。顔の相も変わったと思います。それから、病院の内視鏡やMRIなどの検査の時に「入れ歯は外して下さい」と言われるのがとてもイヤだと思っていました。「もう絶対インプラント」って思います。

手術までには、しっかりと歯みがき指導もしていただいて全体的に歯ぐきが引き締まりました。初めは血も出てましたが、指導された通りにするとすぐに血も止まりました。昔、不自由だったことは今では忘れてしまって、もう当たり前って感じになっています。

「もう絶対インプラント」って思います。

手術までには、しっかりと歯みがき指導もしていただいて全体的に歯ぐきが引き締まりました。初めは血も出てましたが、指導された通りにするとすぐに血も止まりました。昔、不自由だったことは今では忘れてしまって、もう当たり前って感じになっています。

何でも食べられるようになって太ってきました。最近ちょっとダイエットしてるんですよ。何でも食べられるようになったら間食も増えてしまって(笑)。

インプラントをしたのは巡り合わせというか、
ご縁のもののような気がします。

砂原 智恵子さん

53歳 自営業



【インプラント埋入箇所と本数】
上顎臼歯部4本、下顎臼歯部2本 計6本

私、詩吟をしてるんですよ。詩吟の時、入れ歯タイプのものだと舌がひっかかったり、声を出しづらかったりしました。コーヒーショップをしてるのですが、仕事柄絶えず人と話すことになりまますから、なおさら口の中に違和感があるのがイヤでしたね。

インプラント治療のことは歯医者さんにあるポスターやパンフレットで知っていましたし、興味もありました。でも、インプラントをすると歯磨きが大変だと聞いて躊躇してしまって、金属のベースのついた自費の入れ歯を入れることにしたんです。

その入れ歯で熱い物を食べると熱さをあまり感じませんので、金属部分の上顎が火傷してしまうんですよ。すごく違和感もありましたしね。それで

我慢できずに前歯を全部削って、コーヌスタイプの入れ歯にしてみました。コーヌスタイプの入れ歯は前の歯だけで維持していたので入れ歯のベース(床)の部分が小さく、違和感はそのようなにはないのですが、コーヌスと入れ歯の境目が何回も割れてしまって、修理を重ねるうちに「やっぱりインプラント」と思い返しました。

インプラントは60~70歳位でするものだと思っていましたが、数年前にインプラントをした叔父の勧めもあり、決意したんです。実際にインプラントをした人の話を聞くとやはり納得がいきますね。やってみて良かったですよ。

やっぱりインプラント以外は違和感が常にありましたからね。インプラントはまったく違和感がないですよ。3箇所計6本のインプラントを入れましたから、手術は3度に分けてしましたが、もう3度目の手術の頃にはすっかり慣れていましたね。

経済的な問題もありますけど、できれば、入れ歯で困っている人みんなに本当に勧めたいですね。

インプラントをしたのは巡り合わせというか、ご縁のもののような気がします。快くインプラント治療を認めてくれた主人にも本当に感謝しています。

今年は詩吟のコンクールで一つ上のランクに入賞できました。いつも決勝で一歩及ばずでしたのに、これも歯のお陰だと思って嬉しくて、主治医の先生にすぐに報告に行きました。

「お陰様で通りましたよ」って(笑)。

人工歯根には前々から興味もありましたし、歯科治療がどんどん進んでいることも知っていましたので迷わずインプラント治療をすることにしました。

権野 功至郎さん

58歳 市議会議員



【インプラント埋入箇所と本数】
上顎の小白歯部に1本

選挙運動中のある日のことですが、昼食のパンにバクッとかぶりついた時、上の歯にものすごい痛みが走ったんです。パンの上にちりばめられている氷砂糖みたいな荒目の砂糖を噛んだ時です。少し触るだけでも飛び上がる程の痛みがなかなか治まらず、娘の勧めで近くの歯医者を訪れました。「えらいことした。物も言えなくなるな」って思いましたよ。

案の定、歯は根っこまで割れていると先生に言われ、すぐにその歯を抜いてもらって痛みは治まりました。抜いた歯の部分のいろいろな治療の方法を先生が説明してくれましたが、強く長持ちするインプラントを歯ぐきが落ち着くの待って入れてもらうことにしました。

人工歯根には前々から興味もありましたし、歯科治療がどんどん進んでいることも知っていましたので迷わずインプラント治療をすることにしました。手術の時のことはほとんど何も覚えていないくらい楽なものでしたね。削る時のガリガリがちょっとくすぐったい感じでしたけどね。それより、インプラントを入れる手術の日に、議会の予定とその後のはずせない懇親会があって、どうなることかと心配でしたが、痛みも出血も腫れもなく歓談できましたよ。食事も不自由なことはありませんでしたしね。さっきまで切ったのにと仲間と笑っていましたよ。帰宅して鏡を覗き込んだ時に、歯ぐきを切った縫っていることが分かって初めてビックリしました。

その2、3日後に卓球の試合があったのですがこれもまったく大丈夫でした。

今はもう何でも噛んでいます。インプラントを入れてることを忘れていて、何も考えず口の中全体で何でも噛んでます。鶏の軟骨でもなんでも平気ですしね。ビールのがらが抜けないくらいかな(笑)。

※それぞれのコメントは、それぞれの方のインプラント体験談に基づくものです。

患者さん個々の状態により、治療法には様々な方法がございます。体験談の中に出てくる様々な治療法は、歯科治療ですでに確立されたものであり、医学的にそれを否定しているものではありません。インプラント治療が最良の方法であるわけでもございません。

インプラント治療のバリエーション

歯を1本だけ失った場合



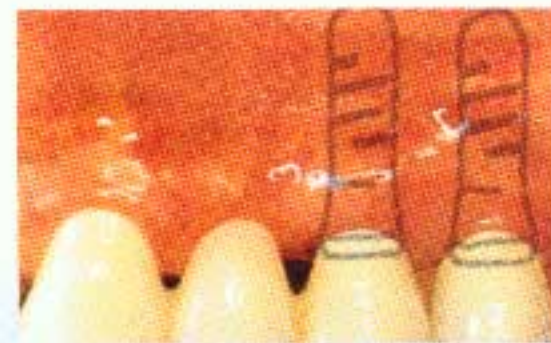
“失われた1本の歯根の代用品”としてインプラントを1本だけ使って失った歯の部分を修復する方法は、最も洗練された治療方法であり、審美的にも満足いく結果が得られます。1本のインプラントによってあたかも自分の天然歯のように自然に感じられます。顎骨の“萎縮”の心配もなく、本来の骨量を維持できます。ブリッジを入れる時のように健康な隣りの歯を削る必要がありません。



数本の歯を失った場合



この場合もインプラントが理想的な解決法となります。数本のインプラントを歯の無い部分に入れ、これを土台としてヘッド部にブリッジをかぶせます。



歯のない部分が多い場合



臼歯が失われた場合、従来は取り外し式の部分入れ歯で咬合機能を回復させてきました。これに対し、インプラントなら天然歯と同様の感覚の“固定式”人工歯を入れることができます。



歯がまったくない場合

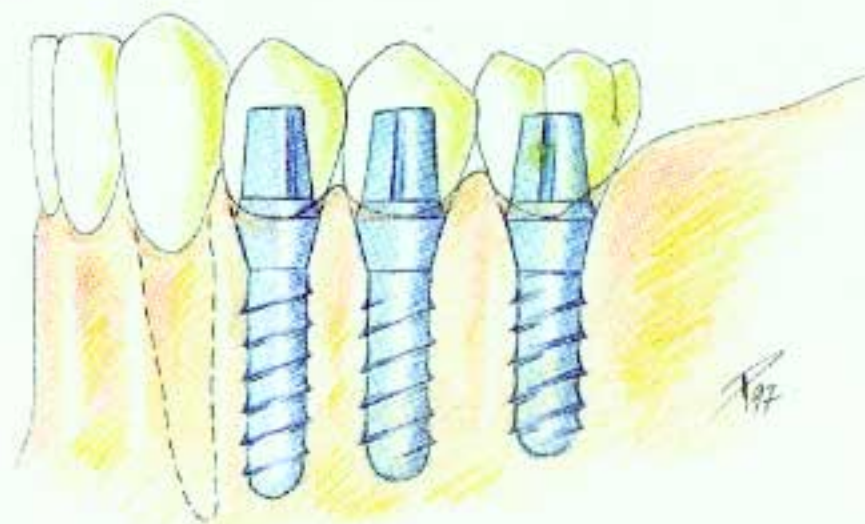


下顎の歯が1本も無い場合の修復にはインプラントがよく利用されます。インプラントのヘッド部をバー状の維持装置で連結し、その上に取り外し式の入れ歯をしっかりと固定することができます。



「インプラント手術は痛くありません」

インプラント治療はこのように行います



STEP1

診断と治療計画

レントゲンなどによって十分な診断の後、インプラント治療に関する説明を受けます。



インプラント治療は専門のトレーニングを受けた歯科医師のみが行います。

STEP2

インプラント手術



ドリルで骨を削ります



インプラントを入れるための孔ができました



インプラントを埋め込みました

チタン製の小さなネジのような形状のインプラントを局所麻酔で顎の骨の中に埋め込みます。



STEP3

インプラントと骨がくっつくのを待つ

インプラントと骨がしっかりとくっつくまで約6～24週間[※]待ちます。この期間、一般的にはインプラントの上に仮歯を入れておきます。

※骨の状態など、様々な条件により異なります。



STEP4

歯の装着

ITIインプラントなら、ここで人工の歯を取り付けます。手術2回式のインプラントの場合はここでもう一度手術してインプラントの頭を出さなければなりません。



インプラント治療の終了後はホームケアが重要です。正しい歯みがきと半年に一度は定期検診を受けましょう。

インプラントの上にはどんな歯を装着するの？

インプラントの上に入れる歯には、大きく分けて下記の3種の方法があります。

完全に固定する

インプラントのヘッドにセメントを用いて歯を接着する。

利点：よく噛める。ネジ穴がないので見た目がきれい。

欠点：トラブル(歯がかけた)が起きた時に上部構造を壊してしまわないと取り外せない。(インプラント本体には影響ありません)

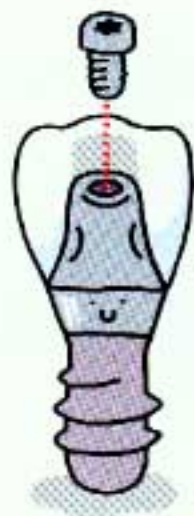


ネジで止める

インプラントのヘッドと歯をネジで止める。

利点：定期検診などの時に歯医者さんで外してもらい、インプラントと歯肉の境目を清潔にすることができる。

欠点：ネジ穴が見える場合がある。

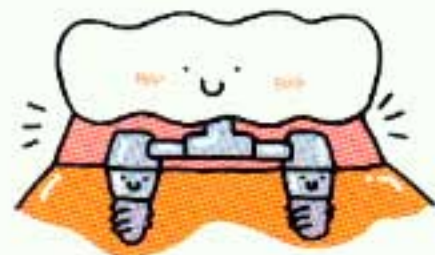


入れ歯にする

インプラントのヘッドに棒状または球状の維持装置を取り付け、入れ歯を固定する。

利点：1本ずつ歯を固定するより安価。

欠点：毎日取り外してきれいに洗浄しなければならない。



インプラントを長持ちさせるためには？

インプラントの上に歯をかぶせ、インプラント治療が一応終了しました。それからが問題です。あなたのインプラントを長期に渡って機能させることができるかどうかはあなた次第です。

1. 毎日の念入りな歯みがき

最も重要なホームケアが歯みがきです。「食べたらすぐにみがく」を心がけ、指導された正しいブラッシングをおこなひましょう。



2. 歯医者さんでの定期検診

当たり前のことですが、インプラントには神経がありません。

ですから感染が起こっても自覚がありません。グラグラ動いてきたり、膿が出てはじめて気が付くのですが、こうなってからでは手遅れです。

治療終了後は先生の指示に従って必ず定期的に検診を受けましょう。

検診では、インプラントの状態、歯肉の状態、かみ合わせのバランスのチェックなどと専門家(歯科衛生士)による歯のお手入れを行います。

また、定期検診はインプラントを入れた歯医者さんでしてもらいましょう。

あなたのインプラントのこと、骨の状態、歯肉の状態、お口の中全体の事など、インプラント手術を通じての情報はその歯医者さんがしっかりチェックしてくれます。



Q&A

Q：インプラント治療に年齢制限はありますか？

A：最低16歳以上（骨の成長がほぼ終了）で、医学的、解剖学的に条件が満たされている限りどなたでもインプラント治療を受けることができます。年齢の上限はありません。

Q：糖尿病でも大丈夫ですか？

A：医師の指導のもとに十分コントロールされていれば大丈夫ですが、状態によってはインプラント手術ができない場合もあります。詳しい病状を先生に伝えて下さい。

Q：歯槽膿漏でも大丈夫ですか？

A：歯槽膿漏にかかっている方はお口の中の衛生状態の悪い場合が多く、そのままではインプラントを入れることはできません。治療と正しいはみがきを身につけることで歯槽膿漏を直し、それからインプラントを入れます。

Q：何本入れればいいのか？多いほうがいいのか？

A：抜けた歯一本に対して必ずしも1本のインプラントを入れる必要はありません。顎の骨の状態によっては入れることができない場合もあります。また、インプラントで維持させる床のついた義歯を入れる場合は少ない数のインプラントで大丈夫です。

Q：治療期間はどのくらいかかるのですか？

A：一般的に、顎の骨に入れたインプラントが周りの骨と結合するのに、使ったインプラントと人にもよりますが6週間～24週間かかります。その後、上に歯を入れるための期間がかかる場合とすぐに入れることができる場合があります。

ITIインプラントの場合はインプラント手術の後、数週間で上の歯まで入れることができます（※骨の状態など、様々な条件が良好な場合に限ります。先生にご相談下さい）。

Q：治療の間、歯がないところはどのようにしますか？

A：仮歯や仮の入れ歯を入れておきます。見た目にも食事をするにも問題はありません。

Q：全身麻酔でも治療できますか？

A：どうしても手術に不安な人や広い範囲に数多くのインプラントを入れる場合、極度の難症例や特殊な手術の場合に全身麻酔下で行うこともあります。全身麻酔の場合は、提携する大学病院や総合病院の手術室でインプラント手術を行います。

Q：手術の際には入院が必要ですか？

A：ごく限られた特別な場合以外は入院の必要はありません。しかし、普通のインプラント手術でも手術後2～3日は安静にして下さい。

Q：インプラントはどのくらいもちますか？

A：インプラントはチタン製でとても丈夫ですので何か問題が起こらなければ半永久的にお口の中で機能します。しかし、はみがきが十分にできないでインプラントの周りに歯垢がついた状態になっていると天然歯と同様、歯槽膿漏のような状態になり、インプラントの周りの骨がやせてしまってグラグラ動いてしまいます。このようになったインプラントは抜くしか仕方ありません。インプラントを長持ちさせるためには、毎日しっかりと歯みがきし、必ず定期検診を受けてチェックと指導をしてもらわなければなりません。

Q：治療費はどのくらいかかりますか？

A：インプラント治療は自由（自費）診療ですので診察を含め、保険はききません。使用するインプラントの本数や種類、上に装着する人工歯の種類、症例の難易度によって費用は異なります。事前に先生とよく相談して下さい。

Q：インプラントの手術は痛いですが？腫れますか？

A：口の中だけの局所麻酔をしてからインプラントを入れますので、ほとんど痛みは感じません。処置時間はだいたい30～120分位です。ただし、麻酔がきれてからは傷口の痛みがまったくないわけではありません。手術後1～2日痛みや腫れが出る場合がありますが通常すぐに治まります。

Q：手術後の注意は？

A：1～2日の腫れている間は食事がしづらくなります。また、感染しやすい期間でもあります。食事はかたいもの

を避け、ジュースやスープなどの流動食や栄養バランスに優れたベビーフードなどを摂って下さい。当日あるいは翌日くらいまでは多少出血が続きますが強くうがいはいしないで下さい。また、大きく口をあけたり、笑ったりするのも避けて下さい。薬は指示通りにきちんと服用して下さい。はみがきは手術当日はやめ、その後は先生の指示に従って下さい。

Q：治療の成功率はどのくらいですか？

A：成功率を分析するために複数の病院で1003人の患者さんに計2359本のインプラントを入れ、8年間に渡って追跡調査した文献報告では、90%以上がまったく何の問題もなく機能し続けております。

Q：以前の自分の歯と同じように噛むことはできますか？

A：インプラントは顎の骨としっかりとくっついて丈夫な土台となり、りんご、たくあん、せんべい、あわびの造り、するめなどほとんどの物はしっかりと噛めます。以前の自分の歯以上かもしれないです。

Q：ITIインプラントが他のブランドのインプラントより優れているのはなぜですか？

A：最初のITIインプラントが1974年に開発されて以来、世界40ヶ国以上でITIのインプラントが使用され、最も信用されているインプラントの一つに数えられています。日本でも色々なインプラントが存在していますが、ITIはトップブランドとしての確固たる地位を築いています。

※詳細はこの冊子のP.17、18をご覧ください。

世界中の人が支持するスイス生まれの ”ITIデンタルインプラント”



ITIとは…

International Team for oral Implantology(口腔インプラント学のための国際チーム)の略称です。ITIは生体工学、物理学、化学、外科、歯科等の専門メンバー*によって構成された口腔内インプラント学の国際的研究チームです。ITIは骨整形外科分野で40年余りの実績を持つスイスのストローマン(Strumann)研究所と共同開発を行い、完璧な科学的理論に基づいた厳密な実験、テスト、臨床研究を通じてITIインプラントを開発しております。

*ITIメンバーは世界25か国以上に渡り、約200名以上が登録されています。メンバーの50%は大学教授と各専門分野のエキスパートで構成されています。ITIは純粋な学術グループであり、営利を目的としていません。

ITIインプラントは厳しい品質管理の下で研究・開発・製造・販売が進められており、製造元であるストローマン社は国際基準であるISO9001の厳しい規格に適合し、その認証を得ています。



結論

世界中で数百万人の患者さんがインプラント治療の恩恵にあずかっています。今日ではインプラントを用いた義歯が、従来の義歯に代わる治療法として認められつつあります。正しくお手入れさえすれば、インプラントによる人工歯は非常に利点が多く、かつ半永久的な義歯となり、長期間に渡ってご満足いただく状態を維持することができます。念入りなお手入れは確かに大変です。しかし、その労力に対する「歯のある生活を取り戻す」という見返りが非常に大きいものであることは言うまでもありません。



あなたのお口の状態

氏名 _____ 様 _____ 検査日 ____ / ____ / ____

あなたの歯の状態を記しています。治療を行うかどうかは、
担当医とよく相談して決めて下さい。

●残っている歯



●抜かなければならない歯



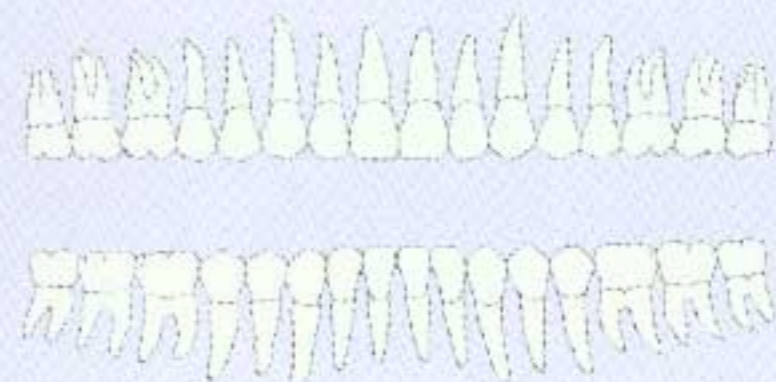
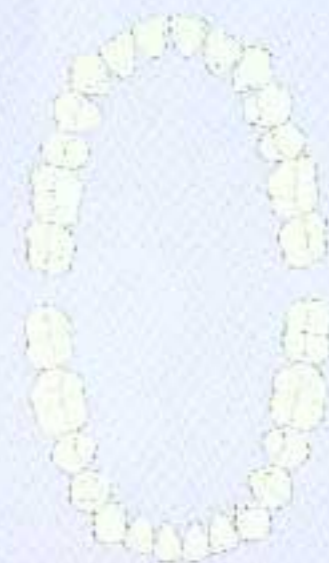
●インプラント治療前に他の治療をしなければならない歯 (虫歯、歯の根の病気、歯槽膿漏など)



あなたのインプラント治療について

●インプラントを入れる予定の部分

※状況によっては、下記の通りにインプラントを入れることが
できない場合もあります。



memo

あなたのインプラント治療について

●インプラント治療のタイムスケジュール

1. 初期治療の期間 ~ 頃

お口の中全体の診断や虫歯、歯槽膿漏の治療など、インプラントを入れる前に他の悪い部分をすべて治療します。はみがき指導などもこの期間に行います。

2. インプラント埋入 頃

インプラントを入れる手術の日程です。

3. 仮歯の装着 頃

インプラントの上に仮の歯を取り付けます。

4. 上部構造装着 頃

インプラントの上に最終的な人工の歯を取り付けます。

5. メインテナンス 頃~

●インプラント治療にかかる費用の概算

※あくまでも概算です。顎の骨の状態やその他さまざまな要因によって費用は大幅に増減する場合があります。担当の先生とよくご相談下さい。

●インプラント手術

手術準備	約	円
インプラント埋入 (1本 円)	本 約	円
他 ()	約	円
他 ()	約	円

●上部構造

上部構造 ()	本 約	円
上部構造 ()	約	円
上部構造 ()	約	円

●その他

()	約	円
()	約	円

小 計 約 円

どのくらい噛めますか？

●現在、問題なく噛めるものを○で囲んでみましょう。

年 月 日 記入

